思い立ったら行ってみよう

ふくい嶺北11市町の 街道・流通 アクセス情報

1 南越前町 西街道（馬借街道）

〔スポット〕北前船主の館右近家（国重要文化財）中村家住宅
〔所在地〕南越前町河野・今泉
〔アクセス〕北陸自動車道「南条スマートIC」から車で20分

2 越前市 府中馬借街道

〔スポット〕案内サイン（越前市広瀬町地係）
〔所在地〕越前市広瀬・小野・下中津原・湯谷・中山町
〔アクセス〕北陸自動車道「武生IC」から車で20分

3 永平寺町 松岡十二曲り

〔スポット〕案内サイン（各角）、薬師神社、えい坊館、天龍寺、黒龍石田屋、観音町駅、大廻り史跡 他
〔所在地〕永平寺町 松岡薬師地区、松岡神明地区、松岡芝原地区 他
〔アクセス〕えちぜん鉄道「松岡駅」下車、徒歩5分でサイン1箇所目に到着

4 大野市 美濃街道

〔スポット〕COCONO アートプレイス（旧宇野邸）
〔所在地〕大野市街地
〔アクセス〕中部縦貫自動車道「大野IC」から車で7分、「荒島IC」から車で12分
「JR越前大野駅」下車、徒歩約10分

5 福井市 朝倉街道

〔スポット〕案内サイン（福井市東大味町地係）・明智神社
〔所在地〕福井市東大味町
〔アクセス〕北陸自動車道「福井IC」から車で10分、京福バス「一乗谷東郷線鹿俣口」下車、徒歩30分

6 あわら市 千東一里塚

〔スポット〕文化財説明板
〔所在地〕あわら市花乃杜三丁目
〔アクセス〕北陸自動車道「金津IC」から車で15分
京福バス「東尋坊線金津坂ノ下」下車、徒歩15分

7 勝山市 「平泉寺遺」及び石碑

〔スポット〕石碑①「平泉寺遺」（大正3年）、石碑②「平泉寺遺」（宝暦4年）
〔所在地〕勝山市元町3丁目・旭毛屋町・猪野
〔アクセス〕えちぜん鉄道「勝山駅」下車、徒歩22分

8 鯖江市 白鬼女の渡し場と白鬼女観音

〔スポット〕白鬼女観音堂、案内サイン（鯖江市舟津町五丁目地係）
〔所在地〕鯖江市舟津町五丁目付近
〔アクセス〕北陸自動車道「鯖江IC」から車で9分、福井鉄道福武線「サンドーム西駅」下車、徒歩3分

9 坂井市 旧北陸道に息づく坂井市の伝承

〔スポット〕案内サイン（お早良作地蔵堂・念仏供養塔）
〔所在地〕坂井市坂井町上新庄・長畑
〔アクセス〕北陸自動車道「丸岡IC」から車で30分
ハピラインふくい「丸岡駅」下車徒歩約4分

10 池田町 水戸浪士遺品 兜の鍬形

〔スポット〕能楽の里歴史館（休館中につき、見学の際は事前に教育委員会事務局までご連絡ください）
〔所在地〕今立郡池田町稲荷35-5
〔アクセス〕ハピラインふくい「武生駅」から福鉄バス（池田町・魚見）行き、「稲荷バス停」下車

越前市役所今立総合支所
武生IC
和紙の里会館
西光寺大仏
能楽の里歴史館
国道417
福井県道
福井県道
国道417
国道417
国道417

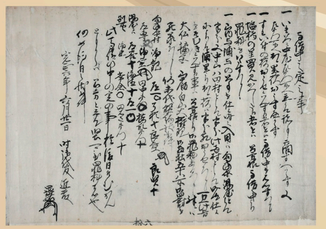
ふくい嶺北11市町の
街道・流通

古来より人やモノが行き交う街道は、
人々の生活に欠かせないものです。
その土地ならではの街道や
関連した場所等を紹介します。

1 南越前町
西街道（馬借街道）

町指定文化財

西街道（馬借街道）は、中世から近世にかけて、府中（武生）－梨子峠－河野・今泉のルートで、馬に荷物を積載し運送する馬借が主に利用した道です。戦国時代に朝倉氏が軍用道路として整備し、街道の馬借に塩や樽の輸送の独占権を与えていました。江戸時代に今泉に福井藩御用米蔵が設けられ、物資輸送において重要な役割を果たしましたが、明治5年（1872）、宿駅制度の廃止により、その役目を終えました。



2 越前市
府中馬借街道

市指定文化財

府中馬借街道は、北国街道の脇道として栄え、現在の越前府中（武生）から河野海岸まで整備された街道です。北国街道を通る南条山地より比較的なだらかな丹生山地を通って河野海岸から船で敦賀へ行くことができたため、利便性の点で物資輸送によく使われました。道幅は2～4mで、途中に水飲み場や石畳、排水溝、側溝、石仏、馬の荷直し道、石段等の遺構が現存します。

3 永平寺町
松岡十二曲り

松岡藩主の館や武家屋敷を守るため、敵が攻めてきても簡単には通り抜けられないよう何度も直角に曲がっています。このような道を「鍵の手」「鍵（かい）曲り」といい、曲がり角の数から「十二曲り」と呼ばれています。江戸時代に栄えた松岡藩の風情を感じることができます。

4 大野市
美濃街道

越前と美濃を結ぶ美濃街道は、かつては現大野市街地の東端を縦貫していました。織田信長の配下・金森長近が城下町を横断するように整備した結果、街道沿線の街区は当地の経済の軸となりました。

COCONOアートプレイスは、街道沿いで穴馬紙を扱っていた紙問屋邸宅をコンバージョンし、市民所有のアート展示を主とした美術館として活用しています。

6 あわら市
千束一里塚

県指定文化財

旅の目印や木陰で休憩できるよう、街道の両脇に一里（約4km）ごとに設置されたのが一里塚です。千束一里塚は、江戸時代初期に旧北陸道を初代福井藩主・結城秀康が整備した際に設置されました。現存するのは大きく成長した榎が植えられた西側のみですが、往時の面影を残しています。

5 福井市
朝倉街道

旧朝倉街道は、戦国大名朝倉氏が旧北陸道と並行して、現在の坂井市から南越前町あたりまで整備した幹線道で、城下町一乗谷へ物資を届けました。上城戸に近い山道には、石畳の遺構が現存します。

7 勝山市
「平泉寺道」及び石碑

平泉寺道は、勝山城下町と平泉寺を結ぶ道です。城下町南端付近に道標（石碑①・②）が立っています。勝山城下町は、中世には袋田村とよばれ、戦国期には市町（いちまち）ができたと考えられています。平泉寺道周辺は遺跡が密に存在していることから、市町や城下町と平泉寺がつながる道に沿って、古くから人びとの生活の場となってきたことがわかります。

8 鯖江市
白鬼女の渡し場と白鬼女観音

日野川と北陸道が交わる「白鬼女の渡し場」。交通の要衝であった当地では、対岸同士を結ぶ方法として渡舟が用いられていました。現在、渡舟はその役目を終え白鬼女橋が架けられていますが、当時の舟の往来を見守っていたであろう石仏に出会うことができます。「白鬼女観音」と呼ばれるこの石仏は当地の歴史の語り部として、地域の人々によって今も大切に守られています。

10 池田町
水戸浪士遺品 兜の鍬形

町指定文化財

尊王攘夷の志を胸に、幕末を騒がせた水戸脱藩浪士の集団「天狗党」。およそ千人の一行が京へ行軍する途中、池田町を通過した。当時流布していた評判と異なり、浪士たちは勇壮で礼儀正しく、町民と一時の交流がありました。別れの際には、形見として髷や生墓などが残され、この鍬形もその一つで、幕末の山里に若き熱風が吹いた歴史を今に伝えています。

9 坂井市
旧北陸道に息づく坂井市の伝承

市を南北に貫く北陸道には、当時の道の形態がよく残されている場所があります。街道沿いには、越前万歳の題材「お早良作」の由来となったお早良作のかけおちにまつわる念仏供養塔や「お早良作地蔵堂」があります。

11 越前町
陶質土器大甕

▲乳頭状突起

越前町天王区・宝泉寺区に所在する番城谷山5号墳から出土した、高さ77.0cm、最大幅59.6cmの大甕です。肩には乳頭状と呼ばれる突起、底には粘土を絞ったような痕跡が見えるなど、朝鮮半島南部で作られる焼き物と同じような特徴があり、製作時期は4世紀末頃～5世紀初頭と見られます。このことから被葬者は朝鮮半島と交流があったと考えられます。